



社協だより

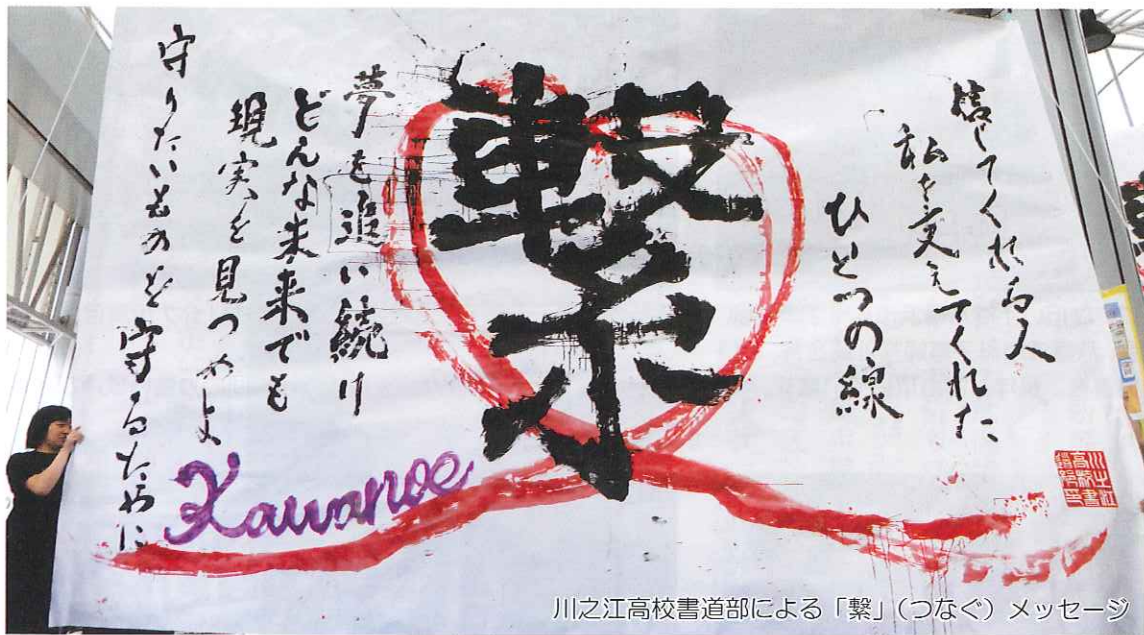
38

平成24年7月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



川之江高校書道部による「繋」(つなぐ)メッセージ

第25回福祉のつどいを開催しました
これまで以上に感謝。
これからを共に歩み仲間づくりを目指します



観客は一筆ひとふでに息をのみました

平成24年6月3日(日) 10時から15時まで、新町ドームで、福祉のつどいを開催しました。(八幡浜市ボランティア協議会・八幡浜市社会福祉協議会主催)雨が心配でしたが、半袖でも十分な晴天となりました。
平成元年3月19日に産声をあげた福祉のつどいは25回目を迎えることができました。(平成3年はお休み)今回、サブテーマ

未来を担う人たちの協働。川之石高校とあゆみの会が手話で「風になりたい」を会場の皆さんと一緒に歌いました。シナリオにはありませんでしたが、急きよ、川之江高校書道部が書道パフォーマンスで参加。若い世代の協働により、会場のより強い一体感をつくってくれました。

として掲げたのは「協働」です。今回も準備から、当日、開催後も様々な協働が実現しました。川之江高校書道部による書道パフォーマンスは圧巻でした。映画「レッドクリフ」の曲にあわせて、力強い・おもいのこもった書道パフォーマンスを魅せてくれました。
未来を担う人たちの協働。川之石高校とあゆみの会が手話で「風になりたい」を会場の皆さんと一緒に歌いました。シナリオにはありませんでしたが、急きよ、川之江高校書道部が書道パフォーマンスで参加。若い世代の協働により、会場のより強い一体感をつくってくれました。



W川高による手話と歌と書道の協働

第25回福祉のつどい 協働を感じる名場面集



定番のおもちは、手作りです。担い手は八幡浜市赤十字奉仕団、八幡浜市ともしび婦人会、八幡浜市母子寡婦福祉連合会、八幡浜市民生委員児童委員協議会。長年、協力頂いています。



北針物語をモチーフに、雅組が作ったオリジナル演目「北針(きたばり)」。雅組が奏でる音にあわせて、八幡浜合唱団の力強い歌声が会場に響き渡りました。



清の会では、子ども、高齢者、障がいをもつ人が参加して、シャボン玉にトライしました。大きなシャボン玉ができるたびに、会場からは、「きれい」「がんばれ」と声があがりました。



今回が初参加のリトルウィング。発達障がいをもつご本人と家族が地域での自立を目指しています。アロマオイルを使ってのマッサージ。お試しの価値あり。



参加者とはつつつ体操すすめ隊が、市民手作りのはつつつ体操に取り組みました。

見守り推進員の活動は、民生児童委員や地区社会福祉協議会と深くつながっています。また、高齢者とそのご家族、近隣の人々

を確認しています。
八幡浜市長から委嘱を受けた109名の見守り推進員が各地域を担当しています。見守りを利用しているお一人暮らしの高齢者は1624名です。(平成24年3月本会調べ)見守り推進員は、70歳以上のお一人暮らしの高齢者と定期的にお会いしてお話を伺い、お元気でいられるかを確認しています。

平成24年4月八幡浜市の調査によると、65歳以上の高齢者の3割がお一人暮らしをされています。高齢者が安心して生活ができるためのお手伝いとして、平成8年より八幡浜市社会福祉協議会は、「高齢者等見守りネットワーク事業」に取り組んでいます。

お一人暮らしの高齢者等が 安心して生活できるお手伝いを 地域住民による見守り活動を知ってや。参加してや。

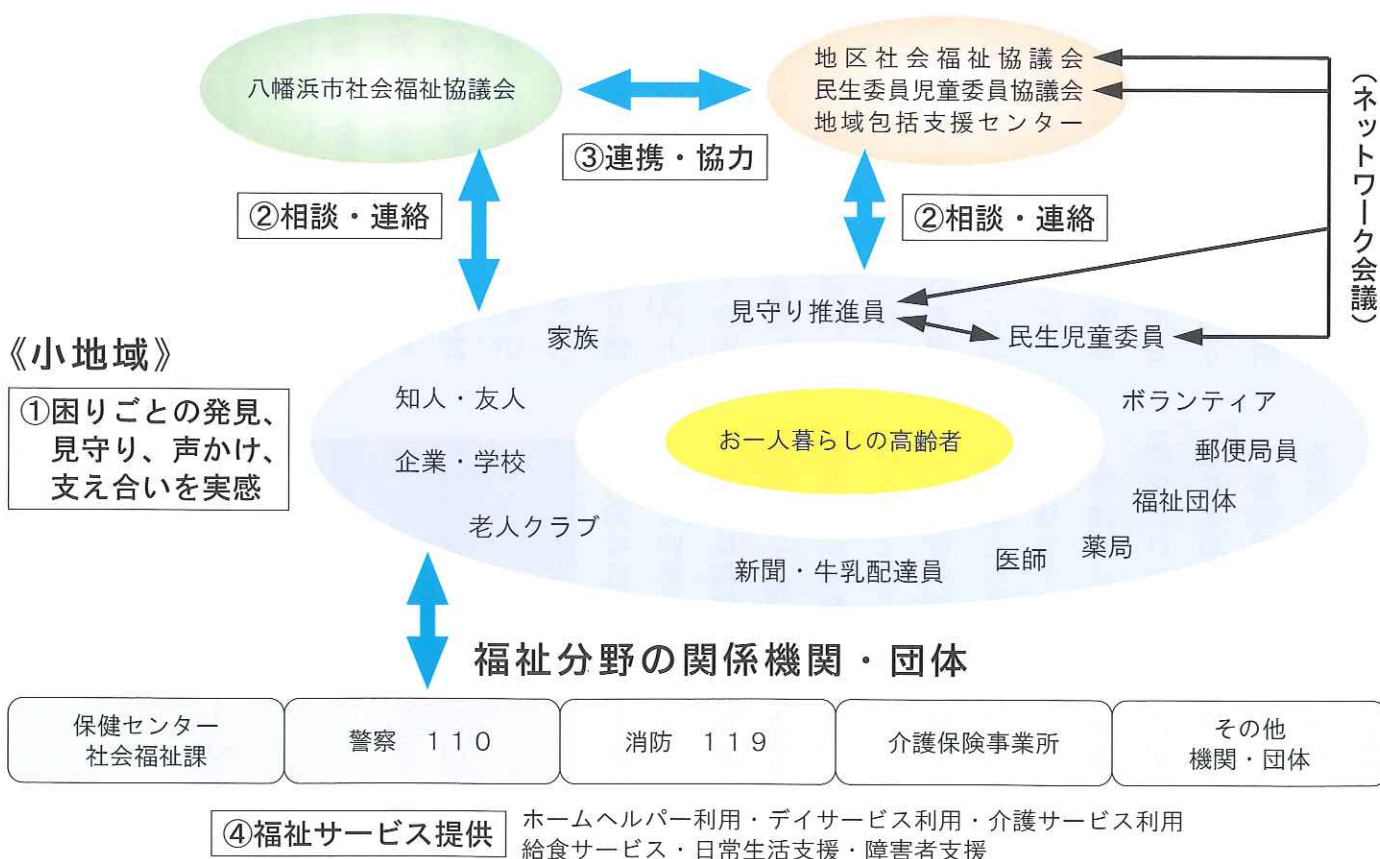
【お問合せ先】
八幡浜市社会福祉協議会
総務福祉課
(0894) 23・2940



川之石地区で行われている話し合い

や介護保険事業所等の協力に支えられています。
定期的に、各地区で話し合いを行います。見守り活動を報告し、困ったことを話し合います。見守り推進員、民生児童委員、地域の協力者、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター等で構成されています。

見守りネットワーク事業イメージ図



④福祉サービス提供 ホームヘルパー利用・デイサービス利用・介護サービス利用
給食サービス・日常生活支援・障害者支援

白浜地区大平の見守り推進員 宮部桂子さん

「見守り活動は、高齢者やいろんな人と団体との信頼関係が大切です」



見守り推進員 宮部桂子さん

平成24年5月31日（木）白浜地区大平13〜16を担当している見守り推進員 宮部桂子さんにインタビューしました。

―自己紹介を

昭和17年2月23日川上町で生まれました。9人きょうだいの下の方でした。食生活改善推進協議会、日赤奉仕団、福祉委員、見守り推進員等沢山ボランティアをしています。どうしても頼まれると断れなくて、現在に

至ります。現在は夫と2人暮らし。隣の家には孫もいて、忙しい毎日です。

見守り推進員は平成18年から引き受けました。私の地区の民生児童委員さんから依頼を受けました。それまでも、白浜地区社協の配食サービスのお手伝いをしていたため、社会福祉協議会の活動や役割は認識していました。

―宮部さんが見守りを担当している地域の特徴を教えてください
私は50年近くこの地域で生活しています。ショッピングや八幡浜総合病院、薬局、保育園、介護保険施設が近くにあり便利がいいです。坂があるため、体が不自由な方や高齢者の方には

みやべ けいこ さん

辛いかもしれませんが、高齢者の方はボツボツ歩いて買い物に行かれる姿をおみかけします。長年この地域で生活している方、三世代で生活している方、

借家が多くあり新しい方など個性豊かな地域です。ふれあい・いきいきサロンがあり、人々とのつながりは強い方だと思います。

―宮部さんが実践されている見守り活動を教えてください

現在、私がお伺いする方は、23名です。男性が6名、女性17名。毎月お顔をあわすようにしています。

お身体が不自由な方は、直接ご自宅にお伺いします。デイサービスなど利用している方はその

時間を避けて、お伺いしています。ショッピングでの買い物、自宅の庭の掃除、孫と遊んでいるとき、散歩しているとき等に、お話しする方もいます。見守りの活動は自然と私の生活にとけこんでいます。

自宅に高齢者がおられないときは、メモ紙をおいておきます。折り返し連絡をくれる方もおられるので安心します。入院された高齢者の方には、民生児童委員さんと一緒に会いに行くこともあります。

やはり、見守る・見守られる関係だけではなく、高齢者の方と私との信頼関係を築くことが一番大切だと思います。そうすると、高齢者の方が自然にお話して下さり、生活リズムや性格、

生活環境など知ることができま
すね。

―高齢者の方と楽しくお話し
すのは

みなさん、私にとっては兄弟、
父母の年齢です。だから尊敬し
ているし、とても愛らしい。話
すコツは人によつて様々です。

あまり話好きでない方、よくお
話される方、お話を聴くことが
得意な方。その方の個性を尊重
してお話しします。自分の生い
立ちや戦時中のお話、好きなこ
と、趣味などで盛り上がります。
いつも最後に私から高齢者の方
にお話しすることがあります。
「寒いぜ。(暑いぜ)こけんよう、
気をつけなはい」

―民生児童委員との連携は

私の地区の民生児童委員さん
はとても活動的で、見守り活動
に協力的です。高齢者の方のわ
ずかな変化や出来事も民生児童
委員さんから私に連絡を頂きま

す。私も高齢者の方とお会いす
れば連絡します。一緒に訪問す
ることもあります。民生児童委
員さんと私とは、厚い信頼関係
が築けていますよ。

―地域包括支援センターや介護
保険事業所等と連絡を取り合う
ことはありますか

基本的には個人情報なので、
連絡が必要な場合は、高齢者ご
本人に同意を頂きます。緊急時
は地域包括支援センターへ連絡
することになると思います。介
護保険事業者の方と連絡を取り
合うことは今のところ、ほとん
どありません。高齢者の方が安
心して生活してもらうためには、
必要に応じて、介護保険事業所
と連絡を取り合う必要性が出て
くるかもしれません。

―見守り活動で困っていること

平成23年度の夏は、高齢者の
方が熱中症になっていないかと
ても心配でした。

民生児童委員さんも私も女性
なので、男性高齢者宅に訪問す
ることは少し緊張します。それ
は、男性高齢者の方も同じかも
しれませんね。信頼関係ができ
てくると、次第にお互い緊張が
和らいできます。

白浜地区社会福祉協議会では
2か月に1回、奇数月に白浜地
区公民館で、見守り活動の報告
や相談を行います。白浜地区の
民生児童委員、見守り推進員、
地区・市社会福祉協議会、地域
包括支援センターが集まります。
そこでは、個人情報に配慮しな
がら、みなさんに相談すること
ができます。八幡浜市において
も高齢者がお一人でなくなつて
いる事例が報告されています。
他人事には思えません。

―高齢者の方をお願いしたいこ
と

元気でいきいきとこの大平で
生活して頂きたいです。何日か
自宅を留守にするときは、ひと

こと、民生児童委員や見守り推
進員に教えて頂くと安心します。
宮部さんがお伺いしている西
野さん(80代、女性)宅を訪ね
ました。

―宮部さんが来てくれるとどう
ですか

西野さん「数年前に夫が亡く
なつて一人になりました」「宮部
さんはとてもええ人で。ほがら
かな気持ちになります」西野さ
んの好きな歌やお勤めされてい
た頃のお話でもりあがります。
お二人の話話が尽きることは
ありませんでした。



西野さんのお話に耳を傾ける宮部さん

平成23年度 八幡浜市社会福祉協議会
 会費についてのご協力を頂き
 ありがとうございます

平成23年度の八幡浜市社会福祉協議会会費について、多くの市民・法人の皆様からご協力を頂きました。また、広報委員、民生児童委員、町内会、地区社会福祉協議会の皆様には、会費加入のご協力を頂き、ありがとうございました。

皆様から頂いた会費は、地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりの事業に役立てさせて頂いております。

【会費で行われた主なとりくみ】

- ・ 給食サービス
- ・ ひとり暮らし老人のつどい
- ・ 三世代ふれあいのつどい
- ・ 地区社協先進地視察
- ・ ふれあい・いきいきサロン
- ・ ふれあい・子育てサロン
- ・ 地域福祉普及向上
- ・ 地区社協広報紙
- ・ 地域福祉座談会

など

【平成23年度 社協会費実績報告】

単位：円

地区名	納入額	地区名	納入額	地区名	納入額
江戸岡	505,550	舌田	135,000	喜須来	547,000
松蔭	694,160	川上	242,300	川の石	746,800
白浜	805,241	真穴	348,997	宮内	681,500
千丈	679,300	双岩	293,500	磯津	130,500
神山	886,700	日土	419,500	合計	7,116,048



磯津地区社協 三世代ふれあいのつどい



神山地区社協 ふれあいきいきサロン さくら会



千丈地区社協 子育てサロン ミッキーハウス



宮内地区社協 広報紙

【会費は笑顔のために、あなたの身近な地域で活用しています】

平成24年度 7月より 八幡浜市社会福祉協議会会員加入に ご協力をお願いします

「こんな八幡浜市にしたい」「こんな八幡浜市に住みたい」「困っていることがある」「こんなサービスが必要だな」八幡浜市社会福祉協議会では、このような声をもとに、「すこやかな心ふれあう思いやりあるまちづくり」に取り組むため、住民や関係機関の皆様にご参画頂き、地域福祉活動の推進に努めています。

住民の皆様一人ひとりが福祉活動に参加することが本来の福祉の姿であるという考えのもと、社協会費を実施しています。身近な地域の福祉活動を推進するためには、様々な方法がありますが、社協会員にご加入いただくことで、間接的に社協活動に参画して頂くことになり、ボランティア活動等を支えることとなります。社協会費は、八幡浜市の地域福祉を推進していく上で、大変貴重な財源となります。

なお、皆様から頂いた会費の内、95%は14の地区社協へ還元しております。
今年度7月より、市民・企業の皆様に、社協会員及び特別会員加入のご依頼をさせて頂きま



社協会費

■ 一般会費 5000円

(各世帯にご協力頂いています)

■ 特別会費 10000円

(各世帯、個人、団体にご協力頂いています)

東日本大震災 義援金の報告 生活再建していく人々のために、 今後も寄付のご協力を

愛媛県共同募金会八幡浜支会よりご報告致します。昨年の震災発生から現在まで、市民の皆様からご寄付頂きました。本当にありがとうございます。

東日本大震災義援金は平成24年9月30日まで八幡浜市社会福祉協議会(23・2940)にて受付しておりますので、引き続きご協力をお願い致します。なお、お寄せ頂いたご寄付は、全額、被災された皆様の生活再建のために届けられています。

共同募金会八幡浜支会の
義援金総額
1,605,042円

中央共同募金会(全国)の
義援金総額
40,676,162,193円
(平成24年6月1日時点)

【平成23年7月16日以降ご寄付を頂いた方々・団体】(順不同、敬称略)

- ・ 記藤聰子
- ・ 松本ツタ子
- ・ 瀬尾歯科医院
- ・ 保内赤十字奉仕団川之石分団
- ・ TEYATEYA快進撃コンサート
- ・ 八幡浜市社協健康クラブ
- ・ 宮内中学校第10回卒業生
- ・ モンブランの会
- ・ ブルージュの会
- ・ やらん会
- ・ 南予協働推進フォーラム
- ・ 川之石地区社協
- ・ 宮内地区社協



セミナーのご案内 「孤立化・無援化が進む 家族と地域の支援力」

現在の家族や地域を見つめ、年を重ねても、おひとりさまでも、自分らしく安心して地域で生活するヒントを学びます。

- ◇時 間：平成24年7月20日（金）
午後1時45分～午後3時30分
内容は、講演となります
- ◇場 所：八幡浜市民スポーツセンター
2階 サブアリーナ
- ◇講 師：春日キスヨ 氏
(前松山大学教授)
- ◇対象者：八幡浜市民
- ◇参加費：無料
- ◇定 員：30名
※定員になり次第、受付終了
- ◇申込み：電話またはFAXで受付します
八幡浜市社会福祉協議会
総務福祉課
電 話：0894-23-2940
FAX：0894-23-0506

精神保健ボランティア養成講座 まずは、知ってみませんか？

「精神保健」と聞いて、まずは疑問に思われるのではないのでしょうか。その疑問を講座を通して解決し、理解者として地域でボランティアしませんか？

- 開催期間** 平成24年8月9日(木)～11月29日(木)
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所** 八幡浜市保健福祉総合センター
- 日 程**
 - ① 8月9日(木) 開講式、映写会「フツに生きたい」
 - ② 22日(水) 当事者との交流会
 - ③ 9月20日(木) 体験発表
 - ④ 10月18日(木) 講義(テーマ：病気と障害)
 - ⑤ 11月8日(木) 講義(テーマ：地域で生活していくために)
 - ⑥ 11月29日(木) ボランティア体験発表、はまかぜとの交流、閉講式
- 体験学習** 8月10日～10月10日までの期間中に、市内の障害者福祉施設から2か所をご選択いただいて体験学習をしていただきます。
- 申込方法** 受講をご希望されます方は、平成24年8月3日(金)までに下記までお電話にてお申込み下さい。



お申込み・お問合わせ 〒796-0202 八幡浜市保内町宮内1-124-1
八幡浜市社会福祉協議会 保内支所(担当：大鼻)
TEL 0894-36-0262 FAX 0894-36-1173
Mail honai-syakyou@world.ocn.ne.jp

福祉用具にふれてみよう！感じてみよう！

愛媛県社会福祉会館1階にある福祉用具・住宅改造展示場では、介護用ベッドや車いすなどの福祉用具、介護衣料品や靴などの介護用品、寝室・浴室・トイレ・台所など住まいの改修モデルがならんでいます。

福祉用具に興味がある方、介護が必要になった方、将来的のことを考えて住まいの改造を考えている方などにご利用いただけます。

定期的に無料相談(無料)を行っています。無料駐車場もありますので、ぜひ、ご利用ください。



- 福祉用具相談日**
毎週火曜～金曜 9：00～16：00 (無料)
- 住宅改造総合相談**
毎週木曜日 13：00～16：00 (無料)
- イベント情報**
平成24年11月17日(土)18日(日)
えひめ福祉用具フェア開催！会場は下記です。
- お問合せ先・相談場所**
愛媛県介護実習・普及センター
松山市持田町三丁目8番15号/089-921-5140

